

各地で実施している食品リサイクルループ

ユニーは店舗を営業している各地域で食品リサイクルループを構築し、循環の環を継続することを目標にしています。食品リサイクルループは、食品廃棄物を再生利用するだけでなく、消費者と農業者を結び、地産地消を実現する有効な手段でもあります。またトレーサビリティが明確であることから、食の安全安心の確保にもつながります。さらに食品リサイクル法で定められた「再生利用事業計画」を国に申請し認定されることで、リサイクルループの有効性と法遵守を確実に継続させていきます。

愛知県ヒラテ産業・JAグループ【愛知県】

ユニーが最初に取り組み、2005年から事業を始めたリサイクルループです。愛知県刈谷市の再生利用事業者（ヒラテ産業：堆肥化）とJAグループとの連携で、現在は、愛知県下の刈谷市・知立市・安城市・岡崎市のアピタ・ピアゴの店舗から食品残さを回収し堆肥を製造。その堆肥を使って栽培した野菜や果実を再び店舗で販売しています。農業者とのパートナーシップは、JAあいち海部・JAあいち中央と組んで、地産地消に取り組んでいます。

- 2007年…食品リサイクル法再生利用事業計画を全国初の認定
- 2007年…第1回食品リサイクル推進環境大臣賞最優秀賞受賞
- 2011年…再生利用事業計画変更の認定



2007年10月第1回環境省食品リサイクル推進環境大臣賞最優秀賞受賞



D.I.Dバイオマスリサイクルシステム・JAグループ【愛知県】

2008年、愛知県一宮市の再生利用事業者（D.I.Dバイオマスリサイクルシステム：堆肥化）に一宮市・稲沢市・江南市・豊山町にあるアピタ・ピアゴの店舗から食品残さを搬入し、JAグループとの連携でリサイクルループを構築しました。当初から複数の自治体にある店舗からなるリサイクルループで、現在ではさらに拡大し、大口町・岩倉市・小牧市の店舗からも食品残さを搬入しています。

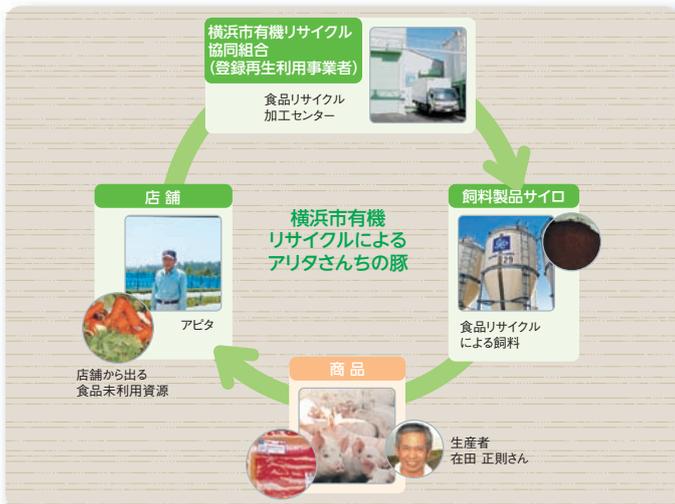
- 2008年…食品リサイクル法再生利用事業計画認定（ユニーで2例目）



横浜市有機リサイクル・アリタさんちの豚【神奈川県】

2006年にユニーとして初めて飼料化のリサイクルに取り組んだリサイクルループです。横浜市内の店舗から食品残さ（パンと野菜）を再生利用事業者（横浜市有機リサイクル：飼料化）に搬入し、豚の飼料を製造。この飼料を千葉県のある田さんが飼育する豚に給餌し、横浜市内店舗で「アリタさんちの豚」ブランドで販売しています。

- 2010年…食品リサイクル法再生利用事業計画認定（ユニーで3例目）



三功・酵素の里【三重県】

2005年から三重県にある店舗から食品残さを再生利用事業者（三功：堆肥化）に搬入し、堆肥を使って農業法人酵素の里で栽培した野菜や果実を店舗で販売しています。さらに、2006年からは消費者、特に子供達を対象に、食品リサイクルループ・循環型農業の見学・収穫体験を実施し、食品リサイクルの普及啓発を協働で行っています。

- 2011年…食品リサイクル法再生利用事業計画認定（ユニーで5例目）

